

帆布

この帆布の、染色とパラフィン加工を一環して出来るのは、国内唯一「朝日加工株式会社」のみです。そして、永年の技術と時代の流れを追及した、「eパラ加工」が生まれました。

【加工後】

【掴みシワを付けてみると】

eパラ加工を、綿の先染チェックに加工してみました

WHAT'S HANPU ?

帆布は英語のCANVASで厚手の織物です。綿、または麻織物の一つで、綿帆布は、綿糸を使った厚地の平織物のことです。

防水、防災などの加工をして、船の帆や天幕・シート・鞆・ズック靴・濾過布などに用いられます。様々な用途で使用されており、張りがあり丈夫です。

天然素材のため、風を良く通し中の物が蒸れません。また、使っているうちに柔らかくなり馴染んできて味が出てきて新品の時と違った風合いになります。染色も容易に行うことができます。

英語のCANVAS, DUCKを和訳する際に、厚手の布が帆船の帆に使われていたことから「帆布」という字が当てられました。

WHAT'S PARAFFIN ?

パラフィン (PARAFFIN) とは、炭化水素化合物(有機化合物)の一種。炭素原子の数が20以上のアルカン (一般式が C_nH_{2n+2} の鎖式飽和炭化水素) の総称である。

パラフィンが指し示す範囲は広いので一般に使用される場合、ある特定の範囲を指していることが多い。もっとも一般的な用いられ方としては、パラフィン類を原料として製造されるパラフィン紙などがある。

日本では用いられないが、英国、南アフリカでは、灯油を指す言葉として一般に用いられている。

WHAT'S e-PARA ?

Crumpling by hand to produce wrinkles.

「eパラ加工」は、加工布を手で握っただけで、掴みシワが表現出来ます。このシワは熱をかけるまで消える事はありません。熱をかけてシワを消した後、常温に戻ると再度新しいシワの表現が可能です。

以前までのパラフィン加工というのは、加工布を爪で引っかいた時にその痕が残って、これが表面加工の一つとして評価もされました。

当社が開発した「eパラ加工」もパラフィンを用いることは確かですが、同加工を天然素材に適用し、手で掴んだだけでシワが表現できるという、シワに対応する非常な鋭敏さが特徴。

また、衣料品では多く用いられている洗い加工などの工程を加える事で、このeパラ加工を施した生地では、独特な表面変化に加え、パラフィン独特の滑り感も味わえます。アメリカのアウトドア・ブランドなどでは、WET OILとして表現されている事もあります。

朝日加工(株)